

※MS太ゴシックは学力向上に関わる内容 ※下線部は表現する能力の向上に関わる内容

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能 色ぬりの技術(混色やグラデーション)や道具の使い方などにいまだ慣れていない者がおり、進度と技能に差が生じやすい。</p> <p>2 思考・判断・表現 調べ学習、資料を基にした独創的な形成能力や複雑化、簡略化などの経験が不十分であり、何かの模倣に終始する傾向にある。 鑑賞体験が不足しており、味わい方が分からずに感想を言葉にする術が見いだせなかったり、自分の制作に還元できていない。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 新しい学級で新しい環境の中、新しい素材(特に立体作品)や学習分野に大きな期待を寄せている。</p>	<p>1 知識・技能 <u>距離を置きつつ実演で示し、練習を重ね、時間をかけることによって、ていねいな作業を促し、表現技能を高める。同時に、達成感を味わわせる。進度の遅れた生徒には補習を行う。</u></p> <p>2 思考・判断・表現 アイデアスケッチの段階で、<u>繰り返し、考え方のヒントを与え、試行錯誤に時間をかける。また、参考作品を基に美しい構成を大画面で細部まで具体的に示していく。</u> アーティストから上級生まで含めた作品の鑑賞機会を少しずつ増やす。また、一堂に介する秋開催の学習発表会の展示見学を鑑賞能力の向上に利用する。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 再スタートを良い意味できっかけとし、過去の作品例や身近な友人の作品を途中経過として具体的に示すことで、<u>新しい教材への意識を高め、達成感を味わわせる。</u>机上には十分な着色用具、特に絵の具を色数多く常備する。環境を徐々に整備されたものにシフトしていく。</p>